

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 長野県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	長野県立病院機構	2
長野市	長野市民病院	3
松本市	松本市立病院	4
上田市	上田市立産婦人科病院	5
岡谷市	岡谷市民病院	6
飯田市	飯田市立病院	7
大町市	大町総合病院	8
佐久市	国保浅間総合病院	9
東御市	東御市民病院	10
佐久穂町	佐久穂町立千曲病院	11
軽井沢町	国保軽井沢病院	12
辰野町	辰野病院	13
信濃町	信越病院	14
飯綱町	飯綱町立飯綱病院	15
伊那中央行政組合（事業 会計分）	伊那中央病院	16
伊南行政組合	昭和伊南総合病院	17
諏訪中央病院組合	組合立諏訪中央病院	18
依田窪医療福祉事務組合	国保依田窪病院	19

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名					
病院名 長野県立病院機構					
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,048,011	
決算規模(千円)	1,049,482,396	
標準財政規模(千円)	510,016,330	
財政力指数	0.52762	
経常収支比率(%)	93.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	173.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	252,249			
1 経常収益	252,249			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	252,249			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	252,249			
2 経常費用	252,249			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	55.8
材料費	-	-	25.3	29.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	13.0
減価償却費	-	-	9.5	8.7
経費	-	-	22.7	19.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	252,249			
(うち支払利息)	252,249	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	102.5
医業収支比率	-		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		長野県	
市町村・組合名	長野市		
病院名	長野市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	372,760	
決算規模(千円)	214,425,865	
標準財政規模(千円)	88,989,707	
財政力指数	0.74	
経常収支比率(%)	90.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.6
	将来負担比率(%)	42.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	200,205			
1 経常収益	200,205			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	200,205			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	200,205			
2 経常費用	200,205			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	59.8
材料費	-	-	25.3	27.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	12.4
減価償却費	-	-	9.5	8.2
経費	-	-	22.7	19.2
(うち委託料)	-	-	12.6	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	200,205			
(うち支払利息)	200,205	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	103.7
医業収支比率	-		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	松本市				
病院名	松本市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,999 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨感 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	193	70.5	87.8	78.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	14.9	3.1	-
計	199	68.8	85.3	76.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.8	16.4	14.7

設立団体の状況		
人口(人)	241,145	
決算規模(千円)	127,574,454	
標準財政規模(千円)	58,373,907	
財政力指数	0.74	
経常収支比率(%)	87.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,384,281			
1 経常収益	5,369,558			
(1) 医業収益	3,935,263			
入院収益	2,060,143			
外来収益	1,441,298			
診療収入計	3,501,441			
その他医業収益	433,822			
(うち他会計負担金)	88,132			
(2) 医業外収益	1,434,295			
(うち国・都道府県補助金)	845,935			
(うち他会計補助・負担金)	346,750			
(うち長期前受金戻入)	156,457			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	14,723			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,107,143			
2 経常費用	5,090,283			
(1) 医業費用	4,923,750			
職員給与費	3,261,079	82.9	62.1	67.4
材料費	674,621	17.1	25.3	17.7
(うち薬品費)	351,167	8.9	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	286,104	7.3	11.4	8.8
減価償却費	273,232	6.9	9.5	10.7
経費	684,223	17.4	22.7	29.2
(うち委託料)	371,996	9.5	12.6	13.9
研究研修費	8,617			
資産減耗費	21,978			
(2) 医業外費用	166,533			
(うち支払利息)	28,084	0.7	1.3	1.5
(3) 特別損失	16,860			
損益				
経常損益	279,275			
純損益	277,138			
累積欠損金	282,523			
経常収支比率	105.5		101.9	100.3
医業収支比率	79.9		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	8.1		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.1		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	8.1		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	96.9		89.3	84.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,198,924
1 固定資産	3,900,697
(1) 有形固定資産	3,893,857
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	6,840
2 流動資産	2,298,227
(1) 現金及び預金	1,198,605
(2) 未収金及び未収収益	1,087,791
(3) 貸倒引当金()	2,690
(4) 貯蔵品	14,521
3 繰延資産	-
負債合計	4,931,745
1 固定負債	2,785,097
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,607,797
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,177,300
(7) リース債務	-
2 流動負債	989,323
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	344,731
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	213,970
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	410,581
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,157,325
(1) 長期前受金	1,966,436
(2) 長期前受金収益化累計額()	809,111
資本合計	1,267,179
1 資本金	1,263,614
2 剰余金	3,565
(1) 資本金剰余金	12,498
(2) 利益剰余金	-8,933
負債・資本合計	6,198,924
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.1
修正医業収益(千円)	3,847,131

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	499,452	434,882
資本勘定繰入	189,983	200,233
計	689,435	635,115

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	上田市				
病院名	上田市立産婦人科病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	未		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,033 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	1	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	27	40.8	40.8	47.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	27	40.8	40.8	47.5
平均在院日数(一般病床のみ)		5.5	5.4	5.3

設立団体の状況		
人口(人)	154,055	
決算規模(千円)	94,529,774	
標準財政規模(千円)	40,462,521	
財政力指数	0.60	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.3
	将来負担比率(%)	36.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	60.4
修正医業収益(千円)	312,590

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	504,157			
1 経常収益	504,157			
(1) 医業収益	312,590			
入院収益	221,006			
外来収益	72,787			
診療収入計	293,793			
その他医業収益	18,797			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	191,567			
(うち国・都道府県補助金)	3,872			
(うち他会計補助・負担金)	143,736			
(うち長期前受金戻入)	36,319			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	531,233			
2 経常費用	531,233			
(1) 医業費用	517,894			
職員給与費	349,073	111.7	62.1	89.0
材料費	24,644	7.9	25.3	14.0
(うち薬品費)	4,364	1.4	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	16,601	5.3	11.4	5.4
減価償却費	52,791	16.9	9.5	13.0
経費	90,377	28.9	22.7	47.1
(うち委託料)	47,043	15.0	12.6	22.5
研究研修費	271			
資産減耗費	738			
(2) 医業外費用	13,339			
(うち支払利息)	3,041	1.0	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-27,076			
純損益	-27,076			
累積欠損金	138,878			
経常収支比率	94.9		101.9	98.5
医業収支比率	60.4		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	28.5		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	46.0		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	28.5		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	67.8		89.3	64.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	982,730
1 固定資産	849,568
(1) 有形固定資産	849,497
(2) 無形固定資産	71
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	133,162
(1) 現金及び預金	91,197
(2) 未収金及び未収収益	41,040
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	924
3 繰延資産	-
負債合計	853,039
1 固定負債	188,672
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	185,670
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,002
(7) リース債務	-
2 流動負債	59,641
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,096
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	19,913
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	23,586
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	604,726
(1) 長期前受金	1,009,815
(2) 長期前受金収益化累計額()	405,089
資本合計	129,691
1 資本金	155,213
2 剰余金	-25,522
(1) 資本金剰余金	66,076
(2) 利益剰余金	-91,598
負債・資本合計	982,730
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	4,699	143,736
資本勘定繰入	6,264	6,264
計	10,963	150,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	44.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	岡谷市				
病院名	岡谷市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	24,157 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨感 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	266	73.2	84.9	84.0
療養	25	74.8	71.9	84.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	36.6	13.9	9.5
計	295	72.8	82.8	83.0
平均在院日数(一般病床のみ)		19.4	19.6	20.4

設立団体の状況		
人口(人)	47,790	
決算規模(千円)	25,953,970	
標準財政規模(千円)	12,037,005	
財政力指数	0.65	
経常収支比率(%)	91.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	68.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.3
修正医業収益(千円)	5,544,135

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,981,620			
1 経常収益	6,926,878			
(1) 医業収益	5,682,135			
入院収益	3,427,062			
外来収益	1,712,857			
診療収入計	5,139,919			
その他医業収益	542,216			
(うち他会計負担金)	138,000			
(2) 医業外収益	1,244,743			
(うち国・都道府県補助金)	481,487			
(うち他会計補助・負担金)	292,400			
(うち長期前受金戻入)	349,979			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	54,742			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,975,690			
2 経常費用	6,904,356			
(1) 医業費用	6,573,354			
職員給与費	4,118,834	72.5	62.1	66.1
材料費	1,042,944	18.4	25.3	19.8
(うち薬品費)	581,736	10.2	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	411,006	7.2	11.4	9.3
減価償却費	500,062	8.8	9.5	10.2
経費	893,655	15.7	22.7	28.2
(うち委託料)	579,698	10.2	12.6	13.6
研究研修費	4,947			
資産減耗費	12,912			
(2) 医業外費用	331,002			
(うち支払利息)	38,759	0.7	1.3	1.6
(3) 特別損失	71,334			
損益				
経常損益	22,522			
純損益	5,930			
累積欠損金	2,699,830			
経常収支比率	100.3		101.9	99.9
医業収支比率	86.4		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	6.2		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.6		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	6.2		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	94.1		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,627,903
1 固定資産	10,230,255
(1) 有形固定資産	9,797,910
(2) 無形固定資産	3,360
(3) 投資その他の資産	428,985
2 流動資産	1,397,648
(1) 現金及び預金	99,067
(2) 未収金及び未収収益	1,271,518
(3) 貸倒引当金()	1,000
(4) 貯蔵品	25,105
3 繰延資産	-
負債合計	13,070,697
1 固定負債	8,882,201
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,983,300
(2) その他の企業債	287,156
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,591,428
(7) リース債務	20,317
2 流動負債	1,611,350
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	464,418
(2) その他の企業債	16,344
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	265,325
(6) リース債務	6,687
(7) 一時借入金	500,000
(8) 未払金及び未払費用	327,423
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,577,146
(1) 長期前受金	4,015,546
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,438,400
資本合計	-1,442,794
1 資本金	1,226,920
2 剰余金	-2,669,714
(1) 資本金剰余金	30,116
(2) 利益剰余金	-2,699,830
負債・資本合計	11,627,903
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	1,442,794
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	892,605	430,400
資本勘定繰入	239,467	229,800
計	1,132,072	660,200

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	36,441
地財法上の資金不足比率(%)	0.6

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	飯田市				
病院名	飯田市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透 未ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	36,376 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	403	76.3	83.0	82.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	407	75.6	82.2	81.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	11.0	11.0

設立団体の状況		
人口(人)	98,164	
決算規模(千円)	58,795,115	
標準財政規模(千円)	27,632,723	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	91.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.0
	将来負担比率(%)	32.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,045,068			
1 経常収益	14,042,968			
(1) 医業収益	12,088,609			
入院収益	8,102,261			
外来収益	3,205,276			
診療収入計	11,307,537			
その他医業収益	781,072			
(うち他会計負担金)	282,921			
(2) 医業外収益	1,954,359			
(うち国・都道府県補助金)	1,064,266			
(うち他会計補助・負担金)	700,683			
(うち長期前受金戻入)	29,463			
(うち資本費繰入収益)	59,400			
(3) 特別利益	2,100			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,449,310			
2 経常費用	13,447,210			
(1) 医業費用	12,892,454			
職員給与費	7,257,905	60.0	62.1	59.8
材料費	2,868,602	23.7	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,385,042	11.5	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,406,831	11.6	11.4	12.4
減価償却費	946,706	7.8	9.5	8.2
経費	1,783,786	14.8	22.7	19.2
(うち委託料)	879,794	7.3	12.6	10.2
研究研修費	26,836			
資産減耗費	8,619			
(2) 医業外費用	554,756			
(うち支払利息)	44,910	0.4	1.3	1.2
(3) 特別損失	2,100			
損益				
経常損益	595,758			
純損益	595,758			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.4		101.9	103.7
医業収支比率	93.8		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	8.1		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	7.0		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	97.1		89.3	93.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	22,401,748
1 固定資産	15,649,810
(1) 有形固定資産	15,057,171
(2) 無形固定資産	165,426
(3) 投資その他の資産	427,213
2 流動資産	6,751,938
(1) 現金及び預金	4,299,192
(2) 未収金及び未収収益	2,419,200
(3) 貸倒引当金()	753
(4) 貯蔵品	34,299
3 繰延資産	-
負債合計	12,078,359
1 固定負債	8,467,596
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,920,259
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,603,220
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,944,117
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,969,880
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,102,112
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	453,794
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,407,843
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	640,883
(1) 長期前受金	1,207,093
(2) 長期前受金収益化累計額()	566,210
資本合計	10,323,389
1 資本金	10,218,071
2 剰余金	105,318
(1) 資本金剰余金	18,625
(2) 利益剰余金	86,693
負債・資本合計	22,401,748
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.6
修正医業収益(千円)	11,805,688

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	983,604	983,604
資本勘定繰入	444,826	436,500
計	1,428,430	1,420,104

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	大町市				
病院名	大町総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	19,380 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救臨 感 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	147	79.9	87.9	79.0
療養	48	87.5	93.8	87.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	24.5	0.1	-
計	199	80.6	87.6	79.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	11.0	11.2

設立団体の状況		
人口(人)	26,029	
決算規模(千円)	19,697,952	
標準財政規模(千円)	10,371,442	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	94.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	48.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,198,623			
1 経常収益	5,189,341			
(1) 医業収益	3,986,452			
入院収益	2,208,576			
外来収益	1,221,881			
診療収入計	3,430,457			
その他医業収益	555,995			
(うち他会計負担金)	101,271			
(2) 医業外収益	1,202,889			
(うち国・都道府県補助金)	517,270			
(うち他会計補助・負担金)	461,479			
(うち長期前受金戻入)	184,154			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,282			
(うち他会計繰入金)	3,238			
総費用	4,683,055			
2 経常費用	4,661,898			
(1) 医業費用	4,468,968			
職員給与費	2,779,415	69.7	62.1	67.4
材料費	564,122	14.2	25.3	17.7
(うち薬品費)	297,658	7.5	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	219,655	5.5	11.4	8.8
減価償却費	310,611	7.8	9.5	10.7
経費	770,503	19.3	22.7	29.2
(うち委託料)	242,560	6.1	12.6	13.9
研究研修費	37,364			
資産減耗費	6,953			
(2) 医業外費用	192,930			
(うち支払利息)	66,294	1.7	1.3	1.5
(3) 特別損失	21,157			
損益				
経常損益	527,443			
純損益	515,568			
累積欠損金	1,678,147			
経常収支比率	111.3		101.9	100.3
医業収支比率	89.2		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	10.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	14.1		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	10.9		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	99.2		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,950,363
1 固定資産	5,604,823
(1) 有形固定資産	4,979,333
(2) 無形固定資産	128,926
(3) 投資その他の資産	496,564
2 流動資産	1,345,540
(1) 現金及び預金	335,582
(2) 未収金及び未収収益	977,060
(3) 貸倒引当金()	1,749
(4) 貯蔵品	34,603
3 繰延資産	-
負債合計	7,364,172
1 固定負債	3,890,637
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,929,368
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	717,000
(6) 引当金	1,235,085
(7) リース債務	9,184
2 流動負債	1,490,132
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	547,088
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	141,156
(6) リース債務	2,765
(7) 一時借入金	400,000
(8) 未払金及び未払費用	376,907
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,983,403
(1) 長期前受金	5,662,963
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,679,560
資本合計	-413,809
1 資本金	691,217
2 剰余金	-1,105,026
(1) 資本金剰余金	573,121
(2) 利益剰余金	-1,678,147
負債・資本合計	6,950,363
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	413,809
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.9
修正医業収益(千円)	3,885,181

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	560,359	565,988
資本勘定繰入	304,955	597,250
計	865,314	1,163,238

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	372,662	8.8
平成30年度	757,202	18.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	42.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	佐久市				
病院名	国保浅間総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,948 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	238	73.8	81.3	81.8
療養	40	58.9	65.3	70.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	278	71.6	79.0	80.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	13.2	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	98,199	
決算規模(千円)	63,267,546	
標準財政規模(千円)	28,170,338	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	82.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-0.2
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.8
修正医業収益(千円)	5,844,260

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,061,828			
1 経常収益	7,061,828			
(1) 医業収益	6,056,562			
入院収益	3,682,580			
外来収益	1,836,945			
診療収入計	5,519,525			
その他医業収益	537,037			
(うち他会計負担金)	212,302			
(2) 医業外収益	1,005,266			
(うち国・都道府県補助金)	214,642			
(うち他会計補助・負担金)	309,646			
(うち長期前受金戻入)	315,569			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,549,648			
2 経常費用	7,548,272			
(1) 医業費用	7,233,762			
職員給与費	4,401,588	72.7	62.1	66.1
材料費	1,108,621	18.3	25.3	19.8
(うち薬品費)	348,925	5.8	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	752,288	12.4	11.4	9.3
減価償却費	554,698	9.2	9.5	10.2
経費	1,157,326	19.1	22.7	28.2
(うち委託料)	521,464	8.6	12.6	13.6
研究研修費	7,483			
資産減耗費	4,046			
(2) 医業外費用	314,510			
(うち支払利息)	63,376	1.0	1.3	1.6
(3) 特別損失	1,376			
損益				
経常損益	-486,444			
純損益	-487,820			
累積欠損金	1,445,283			
経常収支比率	93.6		101.9	99.9
医業収支比率	83.7		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.4		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.6		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	7.4		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	86.6		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,990,131
1 固定資産	7,853,241
(1) 有形固定資産	7,833,000
(2) 無形固定資産	2,741
(3) 投資その他の資産	17,500
2 流動資産	2,136,890
(1) 現金及び預金	925,508
(2) 未収金及び未収収益	1,169,529
(3) 貸倒引当金()	4,512
(4) 貯蔵品	19,117
3 繰延資産	-
負債合計	10,173,369
1 固定負債	7,025,530
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,677,375
(2) その他の企業債	10,344
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,928,823
(7) リース債務	408,988
2 流動負債	1,416,318
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	417,150
(2) その他の企業債	1,285
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	263,273
(6) リース債務	92,576
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	586,361
(9) 前受金及び前受収益	320
3 繰延収益	1,731,521
(1) 長期前受金	5,507,319
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,775,798
資本合計	-183,238
1 資本金	1,147,604
2 剰余金	-1,330,842
(1) 資本金剰余金	114,441
(2) 利益剰余金	-1,445,283
負債・資本合計	9,990,131
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	183,238
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	521,948	521,948
資本勘定繰入	324,749	288,753
計	846,697	810,701

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	23.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	東御市				
病院名	東御市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,858 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	66.5	79.5	76.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	66.5	79.5	76.9
平均在院日数(一般病床のみ)		20.7	18.1	15.8

設立団体の状況		
人口(人)	30,122	
決算規模(千円)	19,872,162	
標準財政規模(千円)	9,070,301	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.6
	将来負担比率(%)	63.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.0
修正医業収益(千円)	1,362,738

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,875,141			
1 経常収益	1,874,691			
(1) 医業収益	1,401,079			
入院収益	461,650			
外来収益	701,943			
診療収入計	1,163,593			
その他医業収益	237,486			
(うち他会計負担金)	38,341			
(2) 医業外収益	473,612			
(うち国・都道府県補助金)	92,726			
(うち他会計補助・負担金)	324,369			
(うち長期前受金戻入)	433			
(うち資本費繰入収益)	44,576			
(3) 特別利益	450			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,898,890			
2 経常費用	1,898,440			
(1) 医業費用	1,816,191			
職員給与費	1,035,657	73.9	62.1	78.9
材料費	232,819	16.6	25.3	15.6
(うち薬品費)	131,502	9.4	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	90,339	6.4	11.4	6.0
減価償却費	146,552	10.5	9.5	11.7
経費	381,298	27.2	22.7	31.2
(うち委託料)	224,695	16.0	12.6	14.3
研究研修費	1,607			
資産減耗費	18,258			
(2) 医業外費用	82,249			
(うち支払利息)	16,374	1.2	1.3	1.7
(3) 特別損失	450			
損益				
経常損益	-23,749			
純損益	-23,749			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.7		101.9	100.3
医業収支比率	77.1		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	19.3		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	25.9		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	19.3		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	79.6		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,684,407
1 固定資産	2,323,112
(1) 有形固定資産	2,322,840
(2) 無形固定資産	272
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	361,295
(1) 現金及び預金	34,925
(2) 未収金及び未収収益	279,528
(3) 貸倒引当金()	1,000
(4) 貯蔵品	30,476
3 繰延資産	-
負債合計	1,595,876
1 固定負債	1,128,170
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,128,170
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	432,611
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	166,325
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	55,644
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	100,000
(8) 未払金及び未払費用	110,642
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	35,095
(1) 長期前受金	36,554
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,459
資本合計	1,088,531
1 資本金	925,743
2 剰余金	162,788
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	162,788
負債・資本合計	2,684,407
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	184,954	362,710
資本勘定繰入	44,576	78,350
計	229,530	441,060

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	佐久穂町				
病院名	佐久穂町立千曲病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,183 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	52	66.3	82.9	82.7
療養	45	68.5	80.6	87.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	97	67.3	81.8	85.1
平均在院日数(一般病床のみ)		15.1	13.8	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	10,218	
決算規模(千円)	10,334,086	
標準財政規模(千円)	5,392,514	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	91.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,479,181			
1 経常収益	1,478,531			
(1) 医業収益	1,124,640			
入院収益	605,934			
外来収益	357,248			
診療収入計	963,182			
その他医業収益	161,458			
(うち他会計負担金)	40,287			
(2) 医業外収益	353,891			
(うち国・都道府県補助金)	59,035			
(うち他会計補助・負担金)	189,814			
(うち長期前受金戻入)	79,905			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	650			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,581,462			
2 経常費用	1,580,659			
(1) 医業費用	1,503,235			
職員給与費	1,000,113	88.9	62.1	78.9
材料費	119,177	10.6	25.3	15.6
(うち薬品費)	36,233	3.2	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	68,146	6.1	11.4	6.0
減価償却費	163,056	14.5	9.5	11.7
経費	211,306	18.8	22.7	31.2
(うち委託料)	120,078	10.7	12.6	14.3
研究研修費	2,821			
資産減耗費	6,762			
(2) 医業外費用	77,424			
(うち支払利息)	4,912	0.4	1.3	1.7
(3) 特別損失	803			
損益				
経常損益	-102,128			
純損益	-102,281			
累積欠損金	432,966			
経常収支比率	93.5		101.9	100.3
医業収支比率	74.8		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	15.6		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	20.5		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	15.6		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	79.0		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,965,888
1 固定資産	1,661,644
(1) 有形固定資産	1,605,511
(2) 無形固定資産	960
(3) 投資その他の資産	55,173
2 流動資産	304,244
(1) 現金及び預金	66,381
(2) 未収金及び未収収益	233,783
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	4,080
3 繰延資産	-
負債合計	1,760,668
1 固定負債	1,315,864
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	859,037
(2) その他の企業債	92,994
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	60,000
(6) 引当金	300,590
(7) リース債務	3,243
2 流動負債	316,687
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	177,262
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	55,964
(6) リース債務	695
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	76,601
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	128,117
(1) 長期前受金	616,703
(2) 長期前受金収益化累計額()	488,586
資本合計	205,220
1 資本金	638,186
2 剰余金	-432,966
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-432,966
負債・資本合計	1,965,888
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	72.1
修正医業収益(千円)	1,084,353

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	230,101	230,101
資本勘定繰入	91,525	151,525
計	321,626	381,626

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	38.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 長野県	
市町村・組合名	軽井沢町				
病院名	国保軽井沢病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,442 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	15	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	79	63.0	77.9	78.7
療養	24	61.6	80.0	74.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	103	62.7	78.4	77.7
平均在院日数(一般病床のみ)		15.4	14.4	14.7

設立団体の状況		
人口(人)	19,188	
決算規模(千円)	17,874,675	
標準財政規模(千円)	9,151,352	
財政力指数	1.65	
経常収支比率(%)	71.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,172,649			
1 経常収益	2,168,681			
(1) 医業収益	1,628,622			
入院収益	831,774			
外来収益	575,981			
診療収入計	1,407,755			
その他医業収益	220,867			
(うち他会計負担金)	140,000			
(2) 医業外収益	540,059			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	430,000			
(うち長期前受金戻入)	22,068			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,968			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,394,656			
2 経常費用	2,389,694			
(1) 医業費用	2,255,691			
職員給与費	1,159,595	71.2	62.1	67.4
材料費	270,790	16.6	25.3	17.7
(うち薬品費)	91,550	5.6	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	155,104	9.5	11.4	8.8
減価償却費	77,864	4.8	9.5	10.7
経費	734,463	45.1	22.7	29.2
(うち委託料)	280,859	17.2	12.6	13.9
研究研修費	12,696			
資産減耗費	283			
(2) 医業外費用	134,003			
(うち支払利息)	31,947	2.0	1.3	1.5
(3) 特別損失	4,962			
損益				
経常損益	-221,013			
純損益	-222,007			
累積欠損金	726,496			
経常収支比率	90.8		101.9	100.3
医業収支比率	72.2		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	26.3		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	35.0		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	26.2		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	66.9		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,010,881
1 固定資産	2,532,760
(1) 有形固定資産	2,532,760
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	478,121
(1) 現金及び預金	170,548
(2) 未収金及び未収収益	283,322
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	24,251
3 繰延資産	-
負債合計	2,703,505
1 固定負債	1,463,362
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,405,024
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	58,338
(7) リース債務	-
2 流動負債	436,999
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	149,038
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	75,989
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	211,972
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	803,144
(1) 長期前受金	1,685,469
(2) 長期前受金収益化累計額()	882,325
資本合計	307,376
1 資本金	525,143
2 剰余金	-217,767
(1) 資本金剰余金	505,429
(2) 利益剰余金	-723,196
負債・資本合計	3,010,881
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	66.0
修正医業収益(千円)	1,488,622

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	590,687	570,000
資本勘定繰入	189,965	131,586
計	780,652	701,586

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	44.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	辰野町				
病院名	辰野病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,882 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	100	78.7	85.1	84.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	78.7	85.1	84.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.4	19.1	20.1

設立団体の状況		
人口(人)	18,555	
決算規模(千円)	11,309,007	
標準財政規模(千円)	5,982,382	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	81.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	13.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.4
修正医業収益(千円)	1,616,785

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,191,153			
1 経常収益	2,191,153			
(1) 医業収益	1,700,031			
入院収益	872,691			
外来収益	667,448			
診療収入計	1,540,139			
その他医業収益	159,892			
(うち他会計負担金)	83,246			
(2) 医業外収益	491,122			
(うち国・都道府県補助金)	44,939			
(うち他会計補助・負担金)	281,971			
(うち長期前受金戻入)	31,014			
(うち資本費繰入収益)	81,783			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,193,545			
2 経常費用	2,193,545			
(1) 医業費用	2,087,531			
職員給与費	1,152,566	67.8	62.1	67.4
材料費	260,726	15.3	25.3	17.7
(うち薬品費)	145,903	8.6	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	91,821	5.4	11.4	8.8
減価償却費	165,696	9.7	9.5	10.7
経費	505,278	29.7	22.7	29.2
(うち委託料)	337,118	19.8	12.6	13.9
研究研修費	1,884			
資産減耗費	1,381			
(2) 医業外費用	106,014			
(うち支払利息)	1,189	0.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-2,392			
純損益	-2,392			
累積欠損金	25,950			
経常収支比率	99.9		101.9	100.3
医業収支比率	81.4		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	16.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	21.5		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	16.7		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	83.2		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,990,344
1 固定資産	2,671,331
(1) 有形固定資産	2,612,102
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	59,229
2 流動資産	319,013
(1) 現金及び預金	91,935
(2) 未収金及び未収収益	210,989
(3) 貸倒引当金()	1,021
(4) 貯蔵品	16,710
3 繰延資産	-
負債合計	2,448,416
1 固定負債	1,588,132
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,443,586
(2) その他の企業債	130,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,600
(7) リース債務	10,946
2 流動負債	296,187
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	100,529
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	75,683
(6) リース債務	16,132
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	103,795
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	564,097
(1) 長期前受金	802,007
(2) 長期前受金収益化累計額()	237,910
資本合計	541,928
1 資本金	567,878
2 剰余金	-25,950
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-25,950
負債・資本合計	2,990,344
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	390,173	365,217
資本勘定繰入	101,913	101,783
計	492,086	467,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	6,645
地財法上の資金不足比率(%)	0.3

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	信濃町				
病院名	信越病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,064 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	47	53.4	58.7	54.3
療養	50	74.7	81.5	80.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	97	64.4	70.3	67.6
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	16.8	15.6

設立団体の状況		
人口(人)	7,739	
決算規模(千円)	6,651,135	
標準財政規模(千円)	3,922,851	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	90.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	24.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,354,378			
1 経常収益	1,342,901			
(1) 医業収益	1,007,754			
入院収益	559,607			
外来収益	330,687			
診療収入計	890,294			
その他医業収益	117,460			
(うち他会計負担金)	66,509			
(2) 医業外収益	335,147			
(うち国・都道府県補助金)	12,919			
(うち他会計補助・負担金)	267,073			
(うち長期前受金戻入)	36,143			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11,477			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,361,725			
2 経常費用	1,359,925			
(1) 医業費用	1,323,590			
職員給与費	787,080	78.1	62.1	78.9
材料費	121,491	12.1	25.3	15.6
(うち薬品費)	43,880	4.4	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	61,523	6.1	11.4	6.0
減価償却費	77,166	7.7	9.5	11.7
経費	336,661	33.4	22.7	31.2
(うち委託料)	137,469	13.6	12.6	14.3
研究研修費	691			
資産減耗費	501			
(2) 医業外費用	36,335			
(うち支払利息)	3,796	0.4	1.3	1.7
(3) 特別損失	1,800			
損益				
経常損益	-17,024			
純損益	-7,347			
累積欠損金	1,214,301			
経常収支比率	98.7		101.9	100.3
医業収支比率	76.1		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	24.8		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	33.1		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	24.6		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	74.2		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	736,379
1 固定資産	476,507
(1) 有形固定資産	476,361
(2) 無形固定資産	146
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	259,872
(1) 現金及び預金	83,857
(2) 未収金及び未収収益	171,458
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	4,557
3 繰延資産	-
負債合計	830,594
1 固定負債	575,083
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	226,450
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	344,457
(7) リース債務	4,176
2 流動負債	135,626
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	40,569
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	57,554
(6) リース債務	1,700
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	35,683
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	119,885
(1) 長期前受金	464,215
(2) 長期前受金収益化累計額()	344,330
資本合計	-94,215
1 資本金	1,086,335
2 剰余金	-1,180,550
(1) 資本金剰余金	33,751
(2) 利益剰余金	-1,214,301
負債・資本合計	736,379
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	94,215
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.1
修正医業収益(千円)	941,245

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	333,582	333,582
資本勘定繰入	25,990	43,699
計	359,572	377,281

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	120.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	飯綱町				
病院名	飯綱町立飯綱病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	11,246 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	110	88.0	72.5	73.0
療養	51	26.8	84.4	83.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	161	68.6	76.2	76.3
平均在院日数(一般病床のみ)		21.7	20.7	21.2

設立団体の状況		
人口(人)	10,296	
決算規模(千円)	10,302,073	
標準財政規模(千円)	4,865,351	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	84.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	5.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,152,157			
1 経常収益	2,152,157			
(1) 医業収益	1,806,890			
入院収益	991,407			
外来収益	592,449			
診療収入計	1,583,856			
その他医業収益	223,034			
(うち他会計負担金)	146,436			
(2) 医業外収益	345,267			
(うち国・都道府県補助金)	15,688			
(うち他会計補助・負担金)	183,095			
(うち長期前受金戻入)	136,597			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,174,697			
2 経常費用	2,174,697			
(1) 医業費用	2,073,161			
職員給与費	1,068,044	59.1	62.1	67.4
材料費	230,204	12.7	25.3	17.7
(うち薬品費)	87,384	4.8	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	117,222	6.5	11.4	8.8
減価償却費	155,259	8.6	9.5	10.7
経費	616,757	34.1	22.7	29.2
(うち委託料)	242,971	13.4	12.6	13.9
研究研修費	2,625			
資産減耗費	272			
(2) 医業外費用	101,536			
(うち支払利息)	31,287	1.7	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-22,540			
純損益	-22,540			
累積欠損金	430,076			
経常収支比率	99.0		101.9	100.3
医業収支比率	87.2		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	15.3		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	18.2		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	15.3		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	83.8		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,325,441
1 固定資産	1,922,385
(1) 有形固定資産	1,901,025
(2) 無形固定資産	400
(3) 投資その他の資産	20,960
2 流動資産	403,056
(1) 現金及び預金	64,222
(2) 未収金及び未収収益	304,983
(3) 貸倒引当金()	1,399
(4) 貯蔵品	34,540
3 繰延資産	-
負債合計	2,714,561
1 固定負債	1,930,980
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,633,612
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	297,368
(7) リース債務	-
2 流動負債	415,078
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	241,183
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	69,460
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	94,815
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	368,503
(1) 長期前受金	1,998,131
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,629,628
資本合計	-389,120
1 資本金	14,932
2 剰余金	-404,052
(1) 資本金剰余金	26,024
(2) 利益剰余金	-430,076
負債・資本合計	2,325,441
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	389,120
資本不足額(繰延収益控除後)()	20,617
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.1
修正医業収益(千円)	1,660,454

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	217,885	329,531
資本勘定繰入	164,977	175,647
計	382,862	505,178

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	23.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	伊那中央行政組合(事業会計分)				
病院名	伊那中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	39,114 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	390	64.9	79.4	80.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	26.3	-	-
計	394	64.5	78.6	79.2
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	12.0	12.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.7
修正医業収益(千円)	10,702,325

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	12,843,616			
1 経常収益	12,839,977			
(1) 医業収益	11,052,947			
入院収益	6,818,095			
外来収益	3,271,674			
診療収入計	10,089,769			
その他医業収益	963,178			
(うち他会計負担金)	350,622			
(2) 医業外収益	1,787,030			
(うち国・都道府県補助金)	1,270,083			
(うち他会計補助・負担金)	423,214			
(うち長期前受金戻入)	24,636			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,639			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,559,040			
2 経常費用	13,550,007			
(1) 医業費用	12,941,060			
職員給与費	7,193,252	65.1	62.1	63.5
材料費	2,791,917	25.3	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,458,773	13.2	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,267,435	11.5	11.4	11.8
減価償却費	1,057,484	9.6	9.5	10.0
経費	1,850,659	16.7	22.7	21.7
(うち委託料)	926,079	8.4	12.6	12.2
研究研修費	25,214			
資産減耗費	22,534			
(2) 医業外費用	608,947			
(うち支払利息)	47,179	0.4	1.3	1.4
(3) 特別損失	9,033			
損益				
経常損益	-710,030			
純損益	-715,424			
累積欠損金	3,284,027			
経常収支比率	94.8		101.9	101.7
医業収支比率	85.4		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	6.0		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	7.0		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	6.0		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	89.0		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,405,867
1 固定資産	19,340,241
(1) 有形固定資産	15,854,213
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	3,486,028
2 流動資産	4,065,626
(1) 現金及び預金	1,549,216
(2) 未収金及び未収収益	2,471,634
(3) 貸倒引当金()	1,271
(4) 貯蔵品	46,047
3 繰延資産	-
負債合計	13,076,059
1 固定負債	9,426,787
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,314,522
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,112,265
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,040,299
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,435,988
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	442,074
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,076,527
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	608,973
(1) 長期前受金	1,160,588
(2) 長期前受金収益化累計額()	551,615
資本合計	10,329,808
1 資本金	13,613,835
2 剰余金	-3,284,027
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,284,027
負債・資本合計	23,405,867
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,165,570	773,836
資本勘定繰入	907,859	907,859
計	2,073,429	1,681,695

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	伊南行政組合				
病院名	昭和伊南総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,682 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	300	57.1	63.6	65.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	57.1	63.6	65.0
平均在院日数(一般病床のみ)		13.8	14.3	13.5

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	1,005,446	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.1
修正医業収益(千円)	6,241,798

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,462,023			
1 経常収益	7,461,223			
(1) 医業収益	6,417,225			
入院収益	3,637,684			
外来収益	2,148,516			
診療収入計	5,786,200			
その他医業収益	631,025			
(うち他会計負担金)	175,427			
(2) 医業外収益	1,043,998			
(うち国・都道府県補助金)	448,092			
(うち他会計補助・負担金)	358,626			
(うち長期前受金戻入)	218,357			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	800			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,216,302			
2 経常費用	7,215,502			
(1) 医業費用	7,168,801			
職員給与費	3,777,109	58.9	62.1	63.5
材料費	1,884,500	29.4	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,177,764	18.4	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	662,538	10.3	11.4	11.8
減価償却費	405,822	6.3	9.5	10.0
経費	1,087,228	16.9	22.7	21.7
(うち委託料)	540,534	8.4	12.6	12.2
研究研修費	9,627			
資産減耗費	4,515			
(2) 医業外費用	46,701			
(うち支払利息)	6,233	0.1	1.3	1.4
(3) 特別損失	800			
損益				
経常損益	245,721			
純損益	245,721			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.4		101.9	101.7
医業収支比率	89.5		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.2		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.3		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	7.2		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	96.0		89.3	90.0

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,811,320
1 固定資産	3,163,265
(1) 有形固定資産	3,132,048
(2) 無形固定資産	1,487
(3) 投資その他の資産	29,730
2 流動資産	4,648,055
(1) 現金及び預金	3,108,236
(2) 未収金及び未収収益	1,484,486
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	55,333
3 繰延資産	-
負債合計	4,893,610
1 固定負債	2,949,283
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,256,442
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,692,841
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,448,332
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	387,631
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	224,208
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	802,756
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	495,995
(1) 長期前受金	3,937,860
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,441,865
資本合計	2,917,710
1 資本金	35,118
2 剰余金	2,882,592
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	2,882,592
負債・資本合計	7,811,320
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	534,053	534,053
資本勘定繰入	223,162	223,162
計	757,215	757,215

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				長野県
市町村・組合名	諏訪中央病院組合			
病院名	組合立諏訪中央病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	32,414 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	21	指定病院の状況	救臨 輪	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	300床以上~400床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	324	83.5	89.9	89.2
療養	36	90.8	94.0	93.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	360	84.2	90.3	89.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.9	13.7	13.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.9
修正医業収益(千円)	8,770,198

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,349,981			
1 経常収益	10,349,981			
(1) 医業収益	8,837,704			
入院収益	5,440,036			
外来収益	2,885,334			
診療収入計	8,325,370			
その他医業収益	512,334			
(うち他会計負担金)	67,506			
(2) 医業外収益	1,512,277			
(うち国・都道府県補助金)	687,262			
(うち他会計補助・負担金)	256,184			
(うち長期前受金戻入)	96,538			
(うち資本費繰入収益)	288,916			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,948,508			
2 経常費用	9,926,908			
(1) 医業費用	9,439,309			
職員給与費	5,625,852	63.7	62.1	63.5
材料費	1,867,679	21.1	25.3	24.9
(うち薬品費)	853,191	9.7	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	932,557	10.6	11.4	11.8
減価償却費	627,476	7.1	9.5	10.0
経費	1,276,817	14.4	22.7	21.7
(うち委託料)	659,835	7.5	12.6	12.2
研究研修費	22,265			
資産減耗費	19,220			
(2) 医業外費用	487,599			
(うち支払利息)	51,482	0.6	1.3	1.4
(3) 特別損失	21,600			
損益				
経常損益	423,073			
純損益	401,473			
累積欠損金	1,084,144			
経常収支比率	104.3		101.9	101.7
医業収支比率	93.6		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	3.1		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	3.7		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	3.1		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	101.0		89.3	90.0

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,075,282
1 固定資産	11,256,915
(1) 有形固定資産	11,099,099
(2) 無形固定資産	1,899
(3) 投資その他の資産	155,917
2 流動資産	2,818,367
(1) 現金及び預金	689,254
(2) 未収金及び未収収益	2,093,798
(3) 貸倒引当金()	9,369
(4) 貯蔵品	44,684
3 繰延資産	-
負債合計	11,807,801
1 固定負債	9,385,308
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,427,437
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,944,366
(7) リース債務	13,505
2 流動負債	1,865,693
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	567,274
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	252,588
(6) リース債務	9,024
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	999,557
(9) 前受金及び前受収益	37,250
3 繰延収益	556,800
(1) 長期前受金	965,724
(2) 長期前受金収益化累計額()	408,924
資本合計	2,267,481
1 資本金	3,262,684
2 剰余金	-995,203
(1) 資本金剰余金	88,941
(2) 利益剰余金	-1,084,144
負債・資本合計	14,075,282
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	633,881	323,690
資本勘定繰入	431,395	288,916
計	1,065,276	612,606

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	12.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				長野県	
市町村・組合名	依田窪医療福祉事務組合				
病院名	国保依田窪病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	13,027 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	15	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	140	64.4	59.8	64.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	64.4	59.8	64.2
平均在院日数(一般病床のみ)		16.7	18.0	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	25,663	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	100.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.2
修正医業収益(千円)	2,283,120

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,012,255			
1 経常収益	3,012,255			
(1) 医業収益	2,362,770			
入院収益	1,657,092			
外来収益	515,027			
診療収入計	2,172,119			
その他医業収益	190,651			
(うち他会計負担金)	79,650			
(2) 医業外収益	649,485			
(うち国・都道府県補助金)	269,678			
(うち他会計補助・負担金)	347,055			
(うち長期前受金戻入)	8,238			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,910,005			
2 経常費用	2,903,098			
(1) 医業費用	2,777,259			
職員給与費	1,478,100	62.6	62.1	67.4
材料費	335,678	14.2	25.3	17.7
(うち薬品費)	129,428	5.5	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	204,943	8.7	11.4	8.8
減価償却費	160,012	6.8	9.5	10.7
経費	801,109	33.9	22.7	29.2
(うち委託料)	266,379	11.3	12.6	13.9
研究研修費	2,360			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	125,839			
(うち支払利息)	31,127	1.3	1.3	1.5
(3) 特別損失	6,907			
損益				
経常損益	109,157			
純損益	102,250			
累積欠損金	1,954,932			
経常収支比率	103.8		101.9	100.3
医業収支比率	85.1		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	14.2		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	18.1		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	14.2		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	89.1		89.3	84.8

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,972,642
1 固定資産	3,121,175
(1) 有形固定資産	3,006,769
(2) 無形固定資産	449
(3) 投資その他の資産	113,957
2 流動資産	851,467
(1) 現金及び預金	199,621
(2) 未収金及び未収収益	610,545
(3) 貸倒引当金()	736
(4) 貯蔵品	32,301
3 繰延資産	-
負債合計	2,506,914
1 固定負債	1,940,184
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,679,079
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	40,661
(7) リース債務	99
2 流動負債	566,730
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	202,019
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	90,326
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	272,667
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	1,465,728
1 資本金	88,558
2 剰余金	1,377,170
(1) 資本金剰余金	3,332,102
(2) 利益剰余金	-1,954,932
負債・資本合計	3,972,642
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	352,280	426,705
資本勘定繰入	118,070	118,070
計	470,350	544,775

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	82.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。